

市長会見の項目（概要）

と き：令和2年12月10日(木)14:00～

ところ：市政記者室

■ 大阪地区トヨタ各社と連携協定を締結しました

＜担当：環境局環境施策部環境施策課（エネルギー政策） 電話：06-6630-3480＞

【フリップあり】

- ◆ 大阪市は、政府の「温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにする」方針に沿って、2050年までの温室効果ガス排出量の実質ゼロをめざしており、「大阪市地球温暖化対策実行計画」に基づき、地球温暖化対策やエネルギー政策を推進している。
- ◆ そのエネルギー政策の一環として、水素を日常生活や産業活動で利活用する「水素社会」の実現に向けて取り組んでいる。
- ◆ 水素は、太陽光や風力などの自然エネルギーを使って創り出すことができ、また、利用段階で温室効果ガスを排出しないので、「クリーンエネルギーの重要な鍵」とされる。
- ◆ また、水素は、石油や都市ガスなどと同じように正しく管理すれば安全に利用できるエネルギーであり、燃料として燃やすだけでなく電気に変えることもでき、自然エネルギーの可能性を広げるものである。
- ◆ 本日、本市と大阪地区トヨタ各社は、エネルギー関連施策の推進に係る連携協定を締結した。協定に基づき、相互連携して、水素社会の実現に向けた取組、燃料電池自動車（FCV）の普及促進のための取組を進める。
- ◆ 具体的には、トヨタ各社販売店や各種イベントにおける車両を活用した広報活動や、水素に関する正しい知識を普及啓発する環境教育・学習事業などに取り組んでいく。
- ◆ 大阪市では、再生可能エネルギーの普及拡大や、次世代エネルギーの活用など、エネルギー関連施策の展開を官民連携で取り組んでいき、「SDGs達成に貢献する環境先進都市」の実現をめざしており、今後も、エネルギー関連施策において協定を締結する事業者を広く募集する。関心のある事業者は、ぜひご連絡いただきたい。